

**製品名: PKC  $\delta$  ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe21275**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG,Kappa
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.3mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	PBS、50%グリセロール、0.05%プロクリン 300、0.05%保護タンパク質
精製	プロテイン A

**応用**

希釈倍率	WB 1:2000-1:10000,IHC 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,IP 1:50-1:200
分子量	Calculated MW:78kD;Observed MW:78kD

**抗原情報**

遺伝子名	PRKCD
別名	PRKCD;Protein kinase C delta type;Tyrosine-protein kinase PRKCD;nPKC-delta
遺伝子 ID	5580.0
SwissProt ID	Q05655
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

**背景**

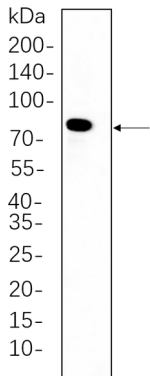
細胞局在: 細胞質、核。プロテインキナーゼ C (PKC) は、カルシウムおよびセカンドメッセンジャーであるジアシルグリセロールに

よって活性化されるセリンおよびスレオニン特異的プロテインキナーゼファミリーです。PKCファミリーメンバーは、多様なタンパク質標的をリン酸化します。また、多様な細胞シグナル伝達経路に関与することが知られています。PKCファミリーメンバーは、腫瘍プロモーターの一種であるホルボールエステルの主要受容体としても機能します。PKCファミリーの各メンバーはそれぞれ特異的な発現プロファイルを持ち、細胞内で異なる役割を果たしていると考えられています。この遺伝子によってコードされるタンパク質は、PKCファミリーメンバーの1つです。ヒトおよびマウスを用いた研究により、このキナーゼはB細胞シグナル伝達、および様々な細胞種の増殖、アポトーシス、分化の制御に関与することが実証されています。同じタンパク質をコードする選択的スプライシングを受けた転写産物バリエーションが観察されています。[RefSeq 提供、2008年7月]

## 研究分野

-

## 画像データ



K562 全細胞ライセートを 10% SDS-PAGE で分離し、膜を PKC $\delta$  ウサギモノクローナル抗体 (1:1000) でブロットニングした。抗体の検出には HRP 標識ヤギ抗ウサギ IgG(H + L)抗体を用いた。